大野川・矢倉で観察された生き物調査報告書　コース No.8

報告者:北川ちえこ

日　時:2016 年 3 月 13 日(日)10:00～14:00　曇り
調査者:上田義昭、北川ちえこ、中谷憲一、中道陽子、堀田サダ、桝元慶子(6 名)、一般参加者 2 名
事務局:柳沼宣裕
コース:阪神電鉄「福駅」～大野川緑陰道路～淀川右岸河川敷～西島閘門～矢倉緑地
～西島コミュニティグランド～淀川右岸堤防～淀川製鋼南歩道～西島閘門
～大野川緑陰道路～阪神電鉄「福駅」・マップ No.1～6

大野川緑陰道路は、西淀川区の「クリーン大作戦」でボランティアの方がゴミを拾うイベントがあり、午前中は調査せず、ほぼ素通りして、淀川の河川敷へ出ました。川沿いはまだ芽吹きの植物が少なく、立枯れの植物ばかりで、これまでの市域調査に比べると春の訪れは遅いなあと思いました。しかし、まだ冬の水辺の鳥は残っていて、色々見られました。今回、この辺りをフィールドとされている河川レンジャーの方が参加され、人工磯の生き物や矢倉緑地の経過の様子などを色々教えていただき参考になりました。緑陰道路はあまり調査ができませんでしたので、帰りに樹木の種類だけ記録しておきました。20 年ほど前にきた時に比べると、樹木が高く大きくなり、夏は樹冠で覆われた下は涼しいのではないかと思いました。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。出現種は植栽以外の記録です。
1:葉、卵　2:花、幼虫、幼鳥　3:果実、蛹　4:実生、成虫、成鳥　0:その他　植:植栽
※実生は 150cm までを 4 と表示しそれ以降は通常の状況番号とします。

メッシュ No.523503354(255)
阪神電鉄「福駅」～阪神電鉄線路沿い
アカネ科…ヤエムグラ 1
イネ科…イヌムギ 2
カタバミ科…カタバミ 1、ムラサキカタバミ 1
キク科…オニタビラコ 2、チチコグサモドキ 2、
ノゲシ 1、ヨモギ 1
ケシ科…ナガミヒナゲシ 1
シソ科…ホトケノザ 1
スイカズラ科…ハナツクバネウツギ 1(植)
ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 2
フウロソウ科…アメリカフウロ 1
ブナ科…アラカシ 1(植)
マメ科…コメツブツメクサ 1
ムラサキ科…キュウリグサ 2
モクセイ科…トウネズミモチ 4
動物…メジロ 4、アブラムシの一種 4、
ハエの一種 4、ホソヒラタアブ 2

福駅で集合　160313　撮影　桝元慶子

大野川緑陰道路
アブラナ科…ナズナ 2,3
キク科…セイヨウタンポポ 2、ノゲシ 1
バラ科…ユキヤナギ 2(植)

集合場所にメジロもやってきた
160313　撮影　桝元慶子

メッシュ No.523503352(286)

大野川緑陰道路
キク科…ウラジロチチコグサ 1、セイヨウタンポポ 2、ノゲシ 1、ヨモギ 1
動物…シロハラ 4、メジロ 4

メッシュ No.523503351(285)
大野川緑陰道路
キク科…シロバナタンポポ 2
バラ科…カジイチゴ 2(植)
動物…シロハラ 4、クマゼミ 0 羽化殻、
マエアカスカシノメイガ 4、マルガタゴミムシの一種 4、
ヤスデの一種 4

マエアカスカシノメイガ　160313　撮影　桝元慶子

メッシュ No.523503253(315)
大野川緑陰道路
アオイ科…ウサギアオイ 1
アカネ科…ヤエムグラ 1
アブラナ科…タネツケバナ 2
イグサ科…スズメノヤリ 2
イネ科…イヌムギ 2、イネ科 sp2(カモジグサ sp?)、スズメノカタビラ 2
キク科…ノゲシ 2
ゴマノハグサ科…フラサバソウ 2
サクラソウ科…シクラメン 2(植)
シソ科…ヒメオドリコソウ 2、ホトケノザ 1
ツバキ科…カンツバキ 2(植)、ヤブツバキ 2(植)
ナス科…イヌホオズキ 1,3
ナデシコ科…コハコベ 1、ミドリハコベ 1
ニレ科…エノキ 0 落葉(植?)
バラ科…ボケ 2'(植)、ユキヤナギ 2(植)
ヒガンバナ科…スイセン 2(植)、ヒガンバナ 1
マメ科…カラスノエンドウ 1
モクセイ科…オウバイ 2(植)
ユリ科…ノビル 1、ハナニラ 2
動物…シジュウカラ 0 声、スズメ 4、ヒヨドリ 4、
オカダンゴムシ 4

クリーン大作戦のボランティアの方が、たくさん落ちている落ち葉のことで質問され、それはクスノキでクスノキの春の落葉についての説明を桝元さんがしています。素通りといえども、こうして止まるとたちまち調査を始めるスタッフです。　160313　撮影　北川ちえこ

淀川右岸河川敷
アカバナ科…メマツヨイグサ 3(立枯れ)
アブラナ科…アブラナ科 sp1、
イネ科…シナダレスズメガヤ sp3(立枯れ)、
メリケンカルカヤ 3(立枯れ)、ヤマアワ?3(立枯れ)
オオバコ科…オオバコ 1、ヘラオオバコ 1(多い)
キク科…カワラヨモギ 1(上部立枯れ)、コセンダングサ 3、
セイタカアワダチソウ 1,3(立枯れ)、ヨモギ 1
マメ科…アレチヌスビトハギ 3
動物…オオバン 4、オカヨシガモ 4、カンムリカイツブリ 4、
コガネムシ亜科の一種 2、ツグミ 4、ハクセキレイ 4、
ヒドリガモ 4、ヨトウガの一種 2、アカテガニ 2

大野川緑陰道路を出てすぐ淀川の堤防が見えます。
160313　撮影　北川ちえこ

ツグミ：淀川の河川敷に出るとすぐにツグミが現れました。河川レンジャーの M さんのお話によりますと、この矢倉海岸は淀川に現れる渡り鳥の集合地で、ツグミもこの時期には 100 単位の数が集まってくるそうです。そのおかげで今日はあちこちでツグミを見ました。初めて知る良いお話で、地域で活躍されている人が入ると、新しい発見が有り、ますます大阪市の生き物の実態がわかってくることを実感しました。地域との連携は大事なのではと思います。
160313　撮影　北川ちえこ

大野川緑陰道路ではもう 10 年以上前から、シロバナタンポポを見ることができるポイントがあり、今回も咲いていました。
これは、植えられたものだとききました。160313　撮影　桝元慶子

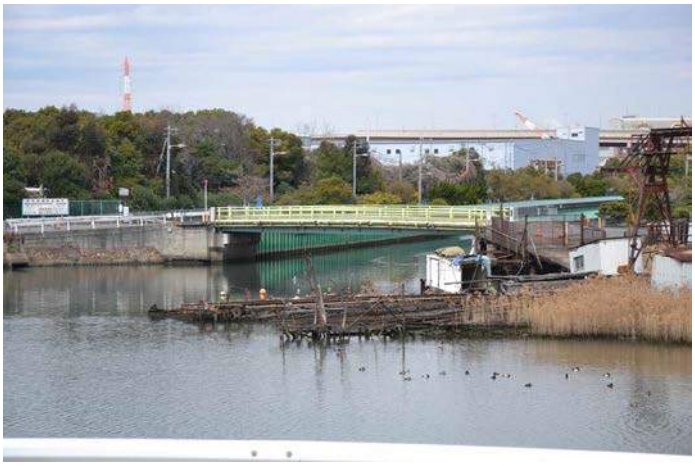
淀川右岸河川敷　160313　撮影　北川ちえこ

アカテガニの雌　甲羅には「にこちゃん」マーク
160313　撮影　桝元慶子

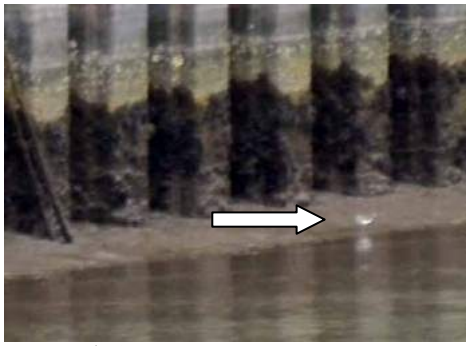
カワラヨモギ：果穂を残し立枯れの状態で新葉が出ています。このような姿のカワラヨモギが、河川敷のあちこちにありました。 160313　撮影　桝元慶子

メッシュ No.523503244（314）
淀川河川敷～福漁港～西島閘門
　アオイ科…ヤノネボンテンカ 4（漂着？）
　イネ科…メリケンカルカヤ 3（立枯れ）、ヨシ 3（立枯れ）
　オオバコ科…ヘラオオバコ 1
　キク科…カワラヨモギ 1（上部立枯れ）、コセンダングサ 3、セイタカアワダチソウ 1、ヨモギ 1
　セリ科…ハマウド 1

タデ果…アレチギシギシ 1
ニレ科…エノキ 4
バラ科…シャリンバイ 2(4 漂着？)、タチバナモドキ 4(漂着？)
マメ科…カラスノエンドウ 1
動物…イソシギ 4、オオバン 4、オカヨシガモ 4、カワウ 4、キンクロハジロ 4、セグロカモメ 4、ドバト 4、ハシボソガラス 4、ヒドリガモ 4、ホシハジロ 4、ムクドリ 4



福漁港には、まだ冬の水辺の鳥たちがいました。
160313　撮影　桝元慶子



イソシギが一羽、漁港の矢板護岸の前にいました。160313　撮影　桝元慶子

ハマウド：これも立枯れの下から新葉が出てきていました。大きな葉なのでよく目立ちました。
160313　撮影　北川ちえこ

淀川河川敷：このようにまだ立ち枯れの植物ばかりで、このあたりでは春は始まったばかりのようです。
160313　撮影　北川ちえこ

ヤノネボンテンカ：以前にはなく、種が漂着して根づいたのではと M さんが言っておられました。沿岸には漂着なのか、鳥が運んだのか分かりませんが、他にシャリンバイやタチバナモドキの実生が見られました。
160313　撮影　桝元慶子

メッシュ No.523503242(342)
西島閘門～淀川製鋼南側歩道
イネ科…メリケンカルカヤ 3(立枯れ)
ゴマノハグサ科…オオイヌノフグリ 2
?科…不明コケ 2

メッシュ No.523503241(341)
堤防道路(荒磯自然護岸)
アオサ科…アオノリ sp1(潮溜まりに)

堤防道路　160313　撮影　北川ちえこ

人工の荒磯自然護岸・潮だまり：アオノリともう一種の海藻がありました。潮だまりは以前、海とつながっていましたが、現在はふさがれていると M さんは言っておられました。 160313　撮影　北川ちえこ

アオノリ sp ほか海藻が岩や石にまとわりついていました。 160313　撮影　桝元慶子

潮だまり：こんな塩分の多い石場にも植物は根を張っていました。手前からアレチハナガサ、メリケンカルカヤ、タチバナモドキ。向こうの方では黄色いオオキバナカタバミが咲いていました。これも色んな調査地で見るようになりました。中道さんと桝元さんが記録や写真をとっています。 160313　撮影　北川ちえこ

メッシュ No.523503232（340）
堤防道路（荒磯自然護岸）
　カタバミ科…オオキバナカタバミ 2
　キク科…セイタカアワダチソウ 1
　クマツヅラ科…アレチハナガサ 3
　シソ科…ホトケノザ 1
　バラ科…タチバナモドキ 4

矢倉緑地
　アカネ科…ヘクソカズラ 3、ヤエムグラ 1
　イネ科…スズメノカタビラ 2、ヨシ 3（立枯れ、植）
　　※地元の方が 4 株ほど植栽したのが増えたそうです。
　オオバコ科…ヘラオオバコ 1

オオキバナカタバミの花が目立っていました。
160313　撮影　桝元慶子

カタバミ科…オッタチカタバミ 1、カタバミ 1
キク科…ウラジロチチコグサ 1、セイタカアワダチソウ 1、セイヨウタンポポ 2、メリケントキンソウ 1、ヨモギ 1
クマツヅラ科…ハマゴウ 0（立枯れ、逸出）
ケシ科…ナガミヒナゲシ 1
ゴマノハグサ科…タチイヌノフグリ 1
シソ科…ヒメオドリコソウ 2、ホトケノザ 1
タデ科…アレチギシギシ 1
ツバキ科…ヤブツバキ 2（植）
ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1
ヒガンバナ科…ハマユウ 1（漂着）、ヒガンバナ 1
ヒルガオ科…ハマヒルガオ 1（逸出）
フウロソウ科…アメリカフウロ 1
マメ科…カラスノエンドウ 1、ハマエンドウ 1（植、逸出）
ヤマモモ科…ヤマモモ 2（植）
動物…カワラヒワ 4、カンムリカイツブリ 4、
ジョウビタキ 4、ツグミ 4、ドバト 4、ハクセキレイ 4、
ヒドリガモ 4、ホシハジロ 4、ムクドリ 4、
オカダンゴムシ 4、ゴマフリドクガ 2、
セイタカアワダチソウアブラムシ 4、
ヒゲジロハサミムシ 4

冬枯れのハマゴウが地表を覆っていました。
160313　撮影　桝元慶子

ハマエンドウ

ハマヒルガオ

ハマエンドウとハマヒルガオ：新芽が出始めていました。過去植栽されたものが、あちこち飛び散ったようです。ハマエンドウは現在でも別の場所で植栽されていました。ハマユウを見かけましたがこれは漂着したものが増えたようです。M さんのお話では、潮だまりの立枯れのヨシは何本か植えたものが増え、同じく立枯れの一面広がるハマゴウは逸出して定着したとのことでした。 160313　撮影　北川ちえこ

矢倉緑地・神崎川側「矢倉干潟」

動物…アカクラゲ 4 死体（打ち上げられた）、
カミクラゲ 4 死体（打ち上げられた）、
ミズクラゲ 4 死体（打ち上げられた）、
イシマキガイ 4、ウネナシトマヤガイ 0 殻、
コウロエンカワヒバリガイ 4、ケフサイソガニ 4、
タカノケフサイソガニ 4、フナムシ 4

矢倉緑地は神崎川左岸の河口でもあります。
160313　撮影　北川ちえこ

矢倉緑地の北側の岸は矢倉干潟とも呼ばれます。
冬枯れのヨシが残っていました。
160313　撮影　桝元慶子

ミズクラゲ:8 センチ四方くらいの大きさです。
160313　撮影　北川ちえこ

アカクラゲ　160313　撮影　桝元慶子

干潟のブロックの穴の中にはコウロエンカワヒバリガイがびっしり　160313　撮影　桝元慶子

コウロエンカワヒバリガイ
160313　撮影　北川ちえこ

ウネナシトマヤガイ
160313　撮影　桝元慶子

フナムシ　160313　撮影　北川ちえこ

イシマキガイ
160313　撮影　桝元慶子

ケフサイソガニの雌。点々が目立つ。
160313　撮影　桝元慶子

タカノケフサイソガニは、ハサミの毛束が大きい。
160313　撮影　桝元慶子

タカノケフサイソガニの雌。点々が薄い。
160313　撮影　北川ちえこ

西島コミュニティグランド南歩道

イネ科…ヤマアワ?3（立枯れ）、ヨシ 3（立枯れ）
アブラナ科…ナズナ 2,3
オオバコ科…ヘラオオバコ 1
キク科…ヒメムカシヨモギ 1、ヨモギ 1
シソ科…ホトケノザ 1
ナデシコ科…オランダミミナグサ 1
バラ科…シャリンバイ 1（植、街中の植栽に比べると大変背が高い）
モクセイ科…トウネズミモチ 1（植、幹が太くて高い）
動物…ウグイス 0 声（モズの鳴きまね?）、シロハラ 4、モズ 4

モズ　グラウンドのフェンスの上に。
160313　撮影　桝元慶子

西島コミュニティグランド南歩道
160313　撮影　北川ちえこ

西島コミュニティグランド南歩道海岸側：当初植栽されたトウネズミモチやシャリンバイが大きくなっていました。160313　撮影　北川ちえこ

メッシュ No.523503241（341）
西島コミュニティグランド南歩道～淀川右岸堤防～淀川製鋼南側フェンスそば

アカネ科…ヤエムグラ 1
アカバナ科…メマツヨイグサ 1
ウコギ科…キヅタ 3（植）
キク科…セイタカアワダチソウ 1、ヨモギ 1
キョウチクトウ科…キョウチクトウ 1（植、淀川製鋼）
サボテン科…ウチワサボテン 1
バラ科…シャリンバイ 1
（植、グランド、街中の植栽に比べると大変背が高い）
マメ科…スズメノエンドウ 1、
カスマグサ 1、カラスノエンドウ 1
（マメ科 3 種が淀川右岸堤防にびっしり群生）
モクセイ科…トウネズミモチ 1
（植、幹が太くて高い）
ユリ科…ノビル 1
動物…カワウ 4、シロハラ 4、
ツグミ 4（淀川堤防下のあちこちにいた）、アオフトメイガ 0 幼虫巣

ウチワサボテン（淀川製鋼南側歩道）：ウチワサボテンは、緑地ができる前はもっと緑地側に群生していました。初めて見た時は、何でこんな所にサボテンがと思いましたが、何回か訪れているうちに、矢倉海岸のシンボルのような記憶になってしまいました。ここに生えているものはその時の生き残りでしょうか。
160313　撮影　北川ちえこ

復路は往路とはコースを変え堤防を歩きました。
160313　撮影　北川ちえこ

淀川右岸堤防：明るく見える緑はカラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ 3 種の群生です。
160313　撮影　北川ちえこ

キヅタ：低い位置で生えていたので果実がよく見えました。 160313　撮影　北川ちえこ

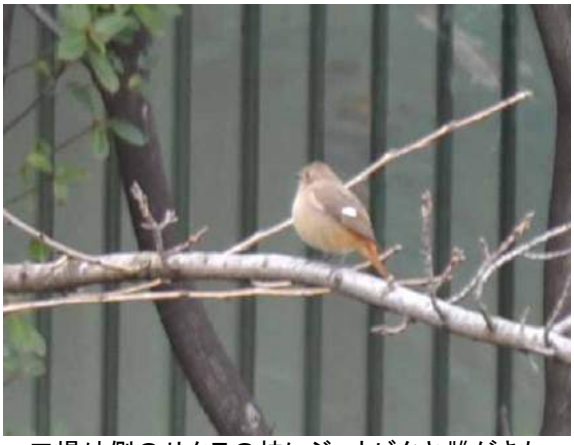
水門まで続くと思っていた堤防はすぐに行き止まり、ここで散歩者が降りるのでしょうか、土で覆われていたコンクリが階段のようになっていました。
160313　撮影　北川ちえこ

メッシュ No.523503242（342）
淀川製鋼南側フェンスそば
動物…キジバト 4、ジョウビタキ 4、
ヒヨドリ 4、イラガ 2 繭、
ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後の繭、
トビイロシワアリ 4、
ユーカリハムシ 0 食痕

工場緑化として植えられた周囲の植栽（キョウチクトウ）は
フェンスを押し倒すほどに成長したためか、
枝を伐って積まれていました。160313　撮影　桝元慶子

サクラにイラガの繭を見つけ撮影しています。
160313　撮影　北川ちえこ

工場外側のサクラの枝についていたイラガの繭
160313　撮影　桝元慶子



工場外側のサクラの枝にジョウビタキ雌がきた
160313　撮影　桝元慶子

ユーカリハムシの食痕がみつかった
ユーカリの高木 160313　撮影　桝元慶子

大野川緑陰道路樹木

アキニレ、アメリカデイゴ、アラカシ、ウバメガシ、エノキ、
オウバイ、カエデ、カジイチゴ、カナメモチ、カポック、
カンツバキ、ヒイラギモクセイ、キンモクセイ、ケヤキ、
クスノキ、クロマツ、クワ、コノテガシワ、サクラ、
サルスベリ、サンゴジュ、シャリンバイ、シラカシ、
タイサンボク、タブノキ、トウジュロ、トウネズミモチ、トベラ、
ナンキンハゼ、ハクモクレン、ハコネウツギ、
ハナツクバネウツギ、バラ、ヒメユズリハ、ヒラドツツジ、
ボケ、マルバシャリンバイ、メタセコイヤ、ヤブツバキ、
ヤマモモ、ユキヤナギ、ユッカ

カジイチゴの花　160313　撮影　桝元慶子

コメント

・ヘラオオバコやカワラヨモギを見ることができました。最近は外来種が多くなりました。いろいろお世話になりありがとうございました。楽しかったです。